

令和6年度 保健体育科 授業改善推進プラン

大田区立大森東中学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 成果

- ・集合時刻を守る、素早く行動する、姿勢を正し説明を聞くなどの授業規律の確立を図ることができた。
- ・毎時間5分間走と体力トレーニングを実施し、運動量の増加を図ることができた。

(2) 課題

- ・陸上競技に関しては、準備運動での運動量を確保しているので生徒の能力は高まってきている。ゴール型の競技においては、チームとして作戦を立て組織として動くことに劣る面がある。特に水泳については、コロナの影響を受け、授業時間を確保できずに、泳力の劣る生徒が多数見受けられる。生涯スポーツの観点からも今年度は、授業時間をしっかり確保し泳力の向上を図っていく。

2 大田区学習効果測定の結果分析

(2) 分析（観点別）

① 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動技能に差がある。走る、跳ぶ、投げる、泳ぐなどの基礎的な能力を向上させることが必要。 ・授業での説明内容をその場では理解しているが、テストにおける定着率が低い。	・運動技能の定着を授業の柱として指導を行った。学期の後半では、自分の考えをもち授業を進める姿が見られた。	・運動に対する興味・関心があり、意欲をもって授業に参加している生徒が多い

② 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動技能の差が大きくなっている面がある。 ・授業での説明内容をその場では理解しているが、テストにおける定着率が低い。	・運動技能の定着を授業の柱として指導を行った。学期の後半では、自分の考えをもち授業を進める姿が見られた。	・運動に対する興味・関心があり、意欲をもって授業に参加している生徒が多い。 ・苦手なことは消極的になりやすく集中力が落ちる面もある。

③ 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・運動技能の差が大きくなっている面がある。 ・授業での説明内容をその場では理解しているが、テストにおける定着率が低い。	・与えられた課題に対して意欲的に取り組む姿勢がしっかり身についている。 - 学期の後半には、各自の課題を理解し、授業に取り組む生徒が多くなってきた。	・運動への興味・関心が強く、苦手なことに対しても意欲をもって授業に参加している生徒が多い。

3 授業改善のポイント（観点別）

(1) 第1学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基礎的・基本的な練習を繰り返し行い、基礎的技能の定着と基礎体力の向上を確実に行う。 ・種目別の技能プリントを作成し、技能のポイントを理解させる。	・学習カードや技能レポートを活用し、各自の能力・技能の現状をつかませ、各自の課題を明確にして授業展開ができるようにする。	・学習活動の中で、体育委員やグループのリーダーを中心にし、生徒主体の活動場面を増やす。 ・タブレットやICT機器を活用した授業展開を実施する。

(2) 第2学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・基礎的・基本的な練習を繰り返し行うと共に、多種多様な練習を取り入れ、運動技能の向上を図る。 ・種目別の技能プリントを作成し、技能のポイントを理解させる。	・学習カードや技能レポートを活用し、各自の能力・技能の現状をつかませ、各自の課題を明確にして授業展開ができるようにする。	・学習活動の中で、体育委員やグループのリーダーを中心にし、生徒主体の活動場面を増やす。 ・タブレットやICT機器を活用した授業展開を実施する。

(3) 第3学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・領域ごとに、生徒の技能に応じた、習熟度別のグループ分けを行う。 ・種目別の技能プリントを作成し、技能のポイントを理解させる。	・学習カードや技能レポートを活用し、各自の能力・技能の現状をつかませ、各自の課題を明確にして授業展開ができるようにする。	・学習活動の中で、体育委員やグループのリーダーを中心にし、生徒主体の活動場面を増やす。 ・タブレットやICT機器を活用した授業展開を実施する。